

令和5年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立雪谷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・新型コロナウイルス感染症対策の一人調理での調理実習が出来たので、児童の調理への理解と意欲が高まった。
- ・ロールプレイング等を活用し、体験を通して自分の考えをもったり友達と交流したりできていて、有効であった。
- ・調理手順や裁縫の基礎的・基本的な技能が身に付くように、ICTを活用し動画を見せることでどのようにすればよいか理解できる児童が増え、有効であった。

(2) 課題

- ・ミシンの活動で怪我をした児童がいたため、実習の授業での安全対策をさらに強化する必要がある。
- ・6年生は調理実習を行うことが出来たが、新型コロナウイルス感染症対策のため実習を行えていなかった期間が長かったためか個人差が大きかった。

2 授業改善のポイント (観点別)

(1) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・調理の手順や裁縫の基礎的・基本的な技能が身に付くように、ICTを活用したり、動画を見せたりして実際の動作を見せる。 (授業構成) ・ミシンの学習の時は、スクールサポーターの方に支援に入っただき、個別支援と安全管理を強化する。 (授業構成) ・知識や理解がさらに深まるよう、既習の事柄をもとにして考えることができるよう助言したり、グループで話し合ったりする授業展開にする。 (授業形態・授業形態) ・調理の基礎技能習得のために、教師が師範で実際の食材を使って調理を見せることで切り方や調理の理解を深める。 (授業形態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の最後に学習感想を書くことで学習したことを自分の生活にどうしたら活かせるか考える。 (授業構成) ・自分の生活の課題を解決するにはどうしたら解決できるか考え、計画を立てて実践する学習を行う。 (授業構成・指導計画) ・友達との交流を踏まえ、自分の考えを練り直したり、修正したりする時間を確保する。 (指導計画・授業構成) 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭実践の課題を出す際には、保護者にコメントをもらうことで生活の営みに自らが参加することが家族の役に立ち、支えることが出来ることを実感させることで意欲を高める。 (指導計画) ・活動に主体的に取り組むことができるように、計画の段階で全体の時間数と活動内容を明らかにし1時間あたりの見通しが持てるように活動内容を明確に設定する。 (指導計画・授業構成)

